

口絵写真および災害の概要 平成 29 年九州北部豪雨で生じた大分県日田市小野地区 の地すべり



(国土地理院 3D モデルの動画より 2017 年 7 月 13 日撮影)

<災害の概要：(斜面防災技術 Vol. 44, No. 3 口絵写真より) >

平成 29 年 7 月 5 日から 6 日の間、北太平洋高気圧から梅雨前線に吹き込む湿った大気により、福岡県朝倉市から大分県日田市にかけて線状降水帯が形成され、日田市小野地区でも最大時間雨量 83mm、最大 24 時間雨量 581mm の豪雨となった。そして、雨が小康状態になった 6 日午前 10 時頃、小野川に面する右岸斜面の中腹部から上部で幅 200m、奥行き 300m に地すべりが生じた。地すべり土塊は下部斜面を流下し、家屋を流失させ、死者 1 名、負傷者 2 名の人的被害のほか、小野川を閉塞して上流側に湛水し、家屋に浸水被害を与えた。